

令和6年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473301008	事業の開始年月日	平成17年12月1日
		指定年月日	平成18年4月1日
法人名	有限会社真全		
事業所名	グループホームまっとう		
所在地	(226-0026) 横浜市緑区長津田町2365		
サービス種別 定員等	☐ 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	☒ 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員 計	18 名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	令和6年10月1日	評価結果 市町村受理日	令和7年2月17日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームまっとうはJR横浜線、田園都市線長津田駅より徒歩約10分の緑豊かな高台にあります。 つくし野に抜ける「長津田宿市民の森」は施設に隣接していてまるで別世界にきたような空間を気軽に味わえる環境が整っており訪れた方を魅了しています。歩いて頂く事を基本にしており食事やおやつの前の廊下歩行訓練は数年前から定着しています。コロナ禍でご遠慮頂いていたご家族様にお越し頂いての家族会や敬老会も今年を行うことが出来多くの家族様がお越しくださいました。昨年2名の方をお看取りし現在も2名の方をお看取り中です。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル9F		
訪問調査日	令和6年10月23日	評価機関 評価決定日	令和6年12月30日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の概要】 当事業所は、JR横浜線ならびに東急田園都市線長津田駅から徒歩10分の高台に位置する木造2階建ての2ユニットのグループホームである。「長津田宿市民の森」に隣接しており、天気の良い日は散歩を楽しんでいる。事業所内は、リビングが広々としており、大きな窓からは日光が良く入り解放感を感じることができる。廊下も広く歩行訓練ができる。 【人材育成のための取り組み】 年間10回を超える外部研修に職員を参加させている。また、今年度は内部研修を年間14回開催している。さらに、外部講師を招いてのバリデーション研修(年12回)を継続的に行っている。加えて、職員には認知症介護実践者研修修了者も複数いる。 【地域住民との密な関係構築】 地域で行われる1月のどんど焼きに参加したり、長津田地区センターのお話会にも参加している。また、近隣の知的障害者支援施設「私立つたのは学園」の生徒が手作りした作品を買いに出かけている。毎月学校便りが届く長津田小学校から運動会の招待状が届き、利用者が参加している。近隣住民から古新聞や紙おむつの提供があったり、区の老人クラブ連絡会婦人部会からは、年1回タオルが大量に寄付されている。地域住民と密なお付き合いができています。
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	グループホームまっとう
ユニット名	Aユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
		○	2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

事業所名	グループホームまっとう
ユニット名	Bユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	☐	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	☐	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	☐	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	☐	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	☐	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	☐	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	☐	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	☐	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	☐	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	☐	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	☐	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	☐	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は事務所に掲示しておりフロア会議で唱和している。フロア会議では一人ひとりのケアの確認に時間をかけて話し合いをして職員の意見を取り入れながら共有し実践している。	「共に自然体（まっとう）に生きる」を柱に4項目の理念を開所時に社長が作成している。理念は事務所に掲示しているほか、週1回の合同朝礼や月1回のフロア会議で唱和して職員に周知している。管理者は、4項目の理念のうち「利用者との信頼を築く」ことに特に力を入れて、事業所を運営している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	東向地自治会の回覧板で情報を得ている。園芸ボランティアが庭の手入れや菜園の世話をして下さいます。以前定期的に行っていた草笛ボランティアも再開しています。ご近所の方から古新聞やオムツの寄付があります。	長津田東向地自治会に加入し、回覧板で地域の情報を得ている。また、運営推進会議で自治会長から地域の情報を聞いている。1月のどんど焼きや長津田地区センターのお話会に利用者が参加している。また、近隣の知的障害者支援施設の市立つたのは学園の生徒が手作りした作品の買い物に出かけることもある。長津田小学校から運動会に招待されており参加する予定である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括支援センターの職員との交流はありますが地域の人に向けての発信はしていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し運営状況や活動報告を行っています。昨年4月から施設で開催しています。メンバーは自治会長、民生委員、ご家族代表、地域包括支援センターの職員です。	運営推進会議は、自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員、家族代表2名をメンバーとし、偶数月に開催している。会議では、事業所の活動状況報告や事故報告を行って意見交換している。また、認知症や身体拘束適正化などの職員研修についても報告している。自治会長からは地域の情報提供があり、家族からは、慰労や感謝の言葉をもたらしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の報告書は緑区高齢・障害支援課に郵送している。緑福祉保健センター開催の感染症対策研修に参加しました。	運営推進会議の報告書は、区の高齢・障害支援課に郵送している。区主催の感染症対策研修に参加している。神奈川県認知症グループホーム協議会、横浜市グループホーム連絡会に参加している。職員は、連絡会主催の身体拘束適正化や虐待防止等の研修を受講している。連絡会では、参加している行政の職員から話を聴く機会を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる	契約書に身体拘束をしない介護について外部内部研修を実施し身体拘束虐待防止委員会を設置している。	身体拘束適正化に関する指針を定め、身体拘束委員会を3か月に1回、身体拘束適正化の研修を年2回開催している。帰宅願望のある利用者には、会話を重ねたり、散歩に出かけたりして、落ち着いてもらっている。散歩は、家族に連れて行ってもらうこともある。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について外部内部研修を行い虐待に繋がる不適切なケアについて学びフロア会議等で職員同士が注意し会える風土作りをしている。	虐待防止のための指針を定め、虐待防止委員会を3か月に1回、虐待防止のための研修を年2回開催している。フロア会議で不適切なケアに関する話し合いをしている。職員は、年2回不適切なケアに関する自己チェックを実施して、自らの業務を振り返っている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度について外部研修に参加し学びました。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結にあたって入居者の不利益になる事が無いことを基本に充分話し合いをして不安疑問点が無い形で入退去頂いています。変更改訂の際は同意書を頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会は玄関先や居室で約30分実施している。年2回の家族会を実施している。「今月のお知らせ」を毎月送付して情報を共有している。	家族の意見・要望は、来所時や運営推進会議、電話連絡、SNSのやり取りなどで把握して、運営に活かしている。年2回開催している家族会でも意見・要望を聞いている。事業所からは、運営に関する協力を依頼している。	
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	法人社長、法人統括本部長が参加する合同会議を月1回開催し職員の意見を反映させている。	職員の意見・提案は、管理者が、個人面談のほか、日々の会話やフロア会議などで把握し、運営に反映している。そのほか、月1回開催される法人の代表・統括本部長が参加する「合同会議」に、管理者が参加して、職員の意見・提案などを伝えている。意見・提案は、管理者が直接法人代表に伝えることもある。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課制度を導入しており職員の努力を反映させている。	管理者は、年2回正規・非正規を問わず職員と人事考課の面談を実施している。人事考課は、昇給に反映している。有給休暇は、定期的に取得してもらうよう話をしており、毎月1日取得している職員が多い。夏季と冬季の特別休暇制度があり、まとまった休暇を取得することもできる。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修はほぼ毎月フロア会議で実施している。。外部研修にも職員の能力に応じた研修に参加して貰い学んだ事をフロア会議の場で共有している。	毎月フロア会議で内部研修を実施している。外部研修を受講した職員は、フロア会議で報告や伝達研修をしている。法人が、外部講師を招いてバリデーション研修を年12回シリーズとして開催している。参加者は、初めて受講する職員などで、今年度は事業所から2名が参加している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	神奈川県認知症グループホーム協議会、横浜グループホーム連絡会の会合や研修に参加し情報を得たり話し合いの機会があります。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時ご家族様に記入して頂いている「私の人生の歴史」を参考にしながら困り事や不安に思っている事要望を伺い日々のケアに活かしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約書や重要事項説明書の十分な説明を行い困り事や不安に思っている事、要望を伺い信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	身体面精神面やご家族との関係等を充分アセスメントしどのような様無円が必要か見極めて他の社会資源も活用し最善のサービスが提供出来る様に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人のじんせいを主体的に生きられる様残存能力を活かして出来る事はやって頂き対等な関係を築いて行ける様努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には居室担当者を設け「今月のお知らせ」として手書きの近況報告を毎月郵送している。メールや電話でやり取りしてチームの一員として関わって頂いている		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に親しくされていた方からの電話や訪問、届け物があり取り次いでいます。	友人や知人の来所があり、居室で30分程度の面会を実施している。電話や手紙の取次ぎ支援や、年賀状の作成・投函支援なども行っている。携帯電話を所有している利用者が2名おり、自らが操作し、通話している。友人や知人から誕生日などにお菓子や花が届くことがあり取り次いでいる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	看取りの方以外は日中フロアで過ごして頂きレクリエーション等に参加して頂き孤立せずに過ごせるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も電話やメールで交流のある方がおられます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	フロア会議で一人ひとりのケアの確認に時間を設け職員の意見を反映し個別ケアを大切にしている。申し送りノートや業務日誌を活用し朝礼でも申し送りし共有している。	利用者の思いや意向は、日頃の会話の他、入浴時や散歩の際など1対1の時間に把握に努めている。「お茶を飲みたくない」という利用者には、家族にジュースなどを持参してもらい、提供している。また、魚が好きではない利用者には、特別メニューとして、カレーやシチューを提供している。把握した思いや意向は申し送りノートと業務日誌に記録して、職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に「私の人生の歴史」を書いて頂きアセスメントシートを活用し馴染みの人や場所の継続が出来る様に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自由に過ごして頂く事を基本に一人ひとりの出来る事を見極めお手伝い等をして頂き残存能力を活かせる様にしています。		
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	フロア会議でモニタリングとサービス担当者会議を行い職員の意見を反映して計画書を作成します。	介護計画は、毎月のフロア会議でモニタリング、サービス担当者会議を開催して作成している。フロア会議では、ユニット全職員が参加してモニタリングを行っている。介護計画の長期目標は6か月、短期は3か月であるが、状態により随時見直している。医療関係者には、訪問診療時に意見を聞いている。	ケア記録を電子化したために介護計画を確認する機会が減っています。介護計画と支援内容の連動性をさらに高めるために、介護計画を確認する機会を増やす仕組み作りを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	今年2月より個別記録はPCに入力している。業務日誌や申し送りノートを活用して情報共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療と連携して筋力低下や凝り等改善の為訪問マッサージを利用している方がおられます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設に隣接する長津田宿市民の森が気軽に利用出来気分転換出来ています。 長津田地区センターのお話会に参加しました。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の定期往診があり職員と業務日誌や申し送りノートで職員間で状況共有している。 月1回の訪問歯科があり口腔清掃や虫歯治療をお願いしている。	利用者全員が、月2回の協力医療機関と月1回の歯科の訪問診療を受診している。整形外科、皮膚科、泌尿器科等の外部医療機関の受診には家族もしくは職員が対応している。訪問診療や外部医療機関の通院の記録は、業務日誌、申し送りノートやパソコンの個人記録に記載して、職員間で情報共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員は業務日誌や申し送り個人記録を確認し情報共有している。対応内容を看護職員ノート、業務日誌や申し送りノートに記録してフィードバックしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様の入院時は必ず付き添い退院時は関係者とカンファレンスを行っている。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に看取りについて詳しく説明し同意を得ている。看取りになった場合は心身の状況を勘案し緊急時の対応についてご家族や主治医を交えて話し合いの場を設けている。何時でも来訪出来る様にしている。	入居契約書締結時に「重度化した場合における対応にかかる指針」「看取りに関する方針」を説明し、同意書を取得している。看取りを行う場合は、家族に説明して看取りの同意書を取り交わしたうえで支援している。今年度は1名の看取りを行った。看取り研修は、看護師が講師となり実施している。看取り後の振り返りも行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入居者様が急変や事故発生時の対応について救急車依頼等訓練を行って確認している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中と夜間を想定した避難訓練と消化訓練を実施している。備蓄品は倉庫に保管して「備蓄品リスト」で管理している。一人ひとりの性格や行動を把握し	日中と夜間を想定した避難訓練を年2回行っている。地震想定 of 訓練も実施している。可能な利用者には、頭巾をかぶって机の下に潜ってもらっている。地域の防災訓練は、長時間に及ぶため、近年は参加していない。BCPは、感染症版・災害版ともに策定済みで勉強会も実施している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	フロア会議で接遇マナー研修を行い不適切な声掛けが無い様全員で注意し会える様にしている。	年1回接遇研修を行っており、個人情報漏洩に関する研修も行っている。利用者の呼称は名字に「さん」付けとしている。医師との会話でも「さん」付けで呼んでいる。居室は室内から鍵が閉められるようになっていて、夜間は4名の利用者が鍵をかけている。利用者に対する言動や行動で気になったことがある場合は、職員同士で注意し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者本位を常に優先し傾聴と共感に努めている。新人職員を中心にバリデーション研修を月1回行い認知症専門ケアに取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合を優先しない様に会議等で伝えている。一人ひとりのペースで起床や食事をして頂いていおりその日の体調や状況に合わせて過ごして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で衣類を選んでおられる方がいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳や下膳をお手伝いして頂いている方がおられる。	汁物、ご飯は職員が作り、主菜・副菜は食材業者から購入して湯煎して提供している。利用者は、配膳や下膳、お盆拭き、食器洗いなどを手伝っている。事業所の畑で取れた食材で収穫祭をやった。父の日や母の日には、ちらし寿司の出前を取っている。夏祭りには、職員がお好み焼きや焼きそばを作っている。クリスマスは職員手作りのスイーツバイキングを行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別に毎日の食事、水分摂取量を記録している。状態に応じ食事形態や量を変えている。毎朝ヨーグルトを個人のお子図解から購入して召し上がっておられる方がいます。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科医の指導の下毎食後一人ひとりに対応した口腔ケアを行っている。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	出来る限りトイレで排泄出来る様排泄パターンや習慣を把握しオムツの使用を減らす様にしている。	支援を受けずにトイレで排泄できる利用者が4名いる。リハビリパンツを使用している利用者が13名いる。排泄チェック表を確認して、定期的にトイレに誘導している。骨折で入院していた利用者が、退院後の支援によりおむつからポータブルトイレでの排泄に改善した事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取を多めにして廊下歩行訓練や身体を動かす様に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週2回の入浴を基本に体調等により日程や時間は柔軟に対応している。便汚染時はその都度シャワー浴して感染防止に努めている。	週2回午前中入浴を基本としている。体調が悪いときは清拭にすることもある。お湯は一人ずつ交換しているため、好みの温度に調整することができる。庭で採れた柚子を入れて柚子湯にすることもある。脱衣場と浴室にエアコンが設置されておりヒートショック対策をしている。入浴記録は、パソコンの個人記録と紙媒体の記録簿で管理している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中も疲れたら本人の希望を伺い休んで頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用は理解している。薬剤師に問い合わせる事もあります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の日課で合唱やゲームに参加して頂いている。食事の配膳下膳やお盆拭き、洗濯物たたみ等をお手伝いして頂いている。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族がフラワーアレンジメント教室にお連れして下さったり長津田地区センターでのお話し会に参加しました。	天気の良い日には、車椅子の利用者も一緒に隣接している長津田宿市民の森に散歩に行っている。ベランダで外気浴を楽しむ利用者がいる。また、プランターで育てている野菜の収穫をしている。今年度は、徒歩で近隣の神社の初詣や公園の花見に出かけた。利用者の外出記録は業務日誌や個人記録に記載して把握している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	特に支援していない		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族や友人と電話で話しをして頂く取次をしている方がおられる。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁に職員と入居者様で作成した飾りを貼って季節感を出し行事の写真を貼るコーナーを設けている。	リビングは広めの造りになっており、窓も大きい。半分くらいは家具などを置かずスペースを残している。キッチンから利用者の様子が見えるようにカーブミラーを設置して、安全面にも配慮している。廊下は広く歩行訓練にも利用している。リビングの壁面には、利用者と職員で作成した季節ごとの飾りやボランティアの作成した切り絵が飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファで気の合う方同士で談笑されておられます。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	学生時代の女子寮風に娘様がレイアウトされた方がおられます。	居室には、介護ベッド、照明、クローゼット、エアコン、防炎カーテンが備え付けられており、空気清浄機も設置されている。利用者は、ダンス、椅子、ぬいぐるみ、仏壇など馴染みの品を持ち込んでいる。安全対策として、家族の了承を得て、全室に監視カメラを設置している。また、一部の居室にはスタッフコールを設置している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	広い廊下を利用して歩いて頂く事を基本に廊下歩行訓練を毎日の日課として行っている。		

目 標 達 成 計 画

事業所名

グループホームまっとう

作成日

令和6年12月30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		ケア記録を電子化した為介護計画を共有して確認する機会が減ってしまいました。介護計画と支援内容の連動性を高める為介護計画を確認する機会を増やす必要があります。	介護計画書を職員全員で共有出来る様にする	現在使用している業務日誌に介護計画書を綴じて職員全員で共有出来る様にしました。	既に実施済み
2					
3					
4					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。